



《年少》「劇遊び」をしました

2月5日(金)に年少の劇遊びをしました。計画では、保護者の皆様に参観していただく予定でしたが、福岡県の緊急事態宣言の発出により断念せざるを得ない状況となってしまいました。子ども達の可愛い劇遊びの姿を何とかして届けようと、ライブ配信をしたりDVDに収録したりするなど苦慮しながら実施したところです。また、コロナ感染防止のためマスク姿での劇遊びとなってしまい、表情が見えにくかったことも残念でした。子ども達は、遊戯室のフロア全面とステージを使って、(収録用のカメラや人の動きなどを気にすることなく)のびのびと劇遊びをしていました。

教室で耳やしっぽ等の衣装(小道具)を装着すると子ども達は変身し、動きや言葉遣いも変わってきます。そして、変身したまま遊戯室に遊びにやって来ます。絵本の世界の始まり～、始まり～。

【らっこ】「みんな み一つけた」・「きょうのおべんとうなんだろな」は、岸田衿子さんの「可愛いかくれんぼ」のシリーズ本です。隠れるのも、見つけるのも、見つかるのも楽しいかくれんぼ…「みんなみ一つけた」と楽しく遊んでいました。そして、お弁当。「いっただっきま～す」と「むしゃむしゃ」「ぱくぱく」「もぐもぐ」と動物になりきって食べているところが可愛かったです。



【こあら】「どうぞのいす」は、休憩用に作った椅子なんではいしょうか?どんぐりを置いたまま昼寝をしまったところから話が始まります。愛らしい動物に変身した子ども達が次々に登場し食べ物を取り替えていくところが楽しかったです。「でも、からっぽにしてしまっは、あとのひとにおきのどく」と「思いやり」を学んだ劇あそびでした。



【ぼんだ】「とんとんとめてくださいな」は、三匹のネズミ達がハイキングに出かけた帰りに道に迷い、日暮れと霧のため遠くに一軒家を見つけたところから話が展開していきます。「とんとんとめてくださいな」と次から次へと動物に変身した子ども達がやってきます。後半は、ちょっと怖い展開になりますが、子どもが、「わたし、こわくないよ」と何度もつぶやいていたところが印象的でした。



幼稚園に赴任して、初めて年中、年長、そして今回の年少と、劇の発表会や劇遊びを見てきました。どの学年・クラスも、クラスの子どもの実態や3歳、4歳、5歳の発達段階に応じた内容や方法で構成してありました。また、年少、年中、年長と点から線へと繋がるように意図的、計画的に活動構成が仕組んであり、着実に子ども達の成長の跡が伺えました。手前味噌になりますが、筑女幼稚園の教師力を発揮した一連の発表会・劇遊び会だったと実感しています。

～教育実習が始まります～

2月15日(月)～3月1日(月)までの10日間、筑紫女学園大学人間科学部人間科学科初等教育専攻2年生2名の教育実習が始まります。教育実習のねらいは、大学の授業で学んだ理論や原理、実技等を幼稚園現場で総合的に実践し、子どもや幼稚園教諭について理解を深めることです。

2名の教育実習生を紹介します。よろしくお願ひします。早速、子ども達と一緒に話したり遊んだり活動をスタートさせています。

◆東 静奈先生
 年少・ぼんだを中心に

◆山本 佳采先生
 年中・りすを中心に

